

定例公安委員会の開催状況について

令和4年11月17日（木）に、第31回山形県公安委員会定例会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 交通規制の解除について（信号機の撤去）

交通規制の実施及び解除（信号機の撤去）について説明を受け、審議を行った。

委員のコメント

- 現在、将来の交通環境から適当である。今後も地元住民とのコンセンサスを第一に考えて進めてほしい。

2 県内における防犯CSR活動について

県内における防犯CSR活動について報告があった。

委員のコメント

- コンビニエンスストアの協力も警察にとって大きな力となっている。今後も良好な関係を構築してほしい。
- 今後も企業と連携した取組を様々な形で広げていくよう期待する。
- それぞれ地域に根ざした大学や企業と警察が連携した活動を、より広く深く定着させてほしい。

3 似顔絵講習会の開催及び犯罪捜査における似顔絵の活用状況について

似顔絵講習会の開催及び犯罪捜査における似顔絵の活用状況について報告があった。

委員のコメント

- 受講した若手警察官に実際の現場での活用を経験させてほしい。
- 効果的な捜査手法であることを再認識した。今後も似顔絵作成の技術向上に努めてほしい。
- 効果率が年々高くなっていることを評価する。似顔絵捜査官の幅広い養成とともに、熟練した達人の養成にも配慮してほしい。

4 東北管区広域緊急援助隊南部三県合同訓練の実施について

令和4年11月8日（金）、山形県警察三隊合同庁舎周辺で実施した東北管区広域緊急援助隊南部三県合同訓練について報告があった。

委員のコメント

- 本番に近い形で有効な訓練ができていた。反復した訓練が大事である。
- チェーンソーの操作には高度な技術が必要である。訓練で得た知識や技術を基に、個人も組織もレベルアップしてほしい。
- 人間同士の連携とともに通信部門との連携もうまくとれていた。今回の反省点を踏まえ、実際の現場で他県警察、消防など他機関と有機的な活動ができるよう、さらに訓練を重ねてほしい。